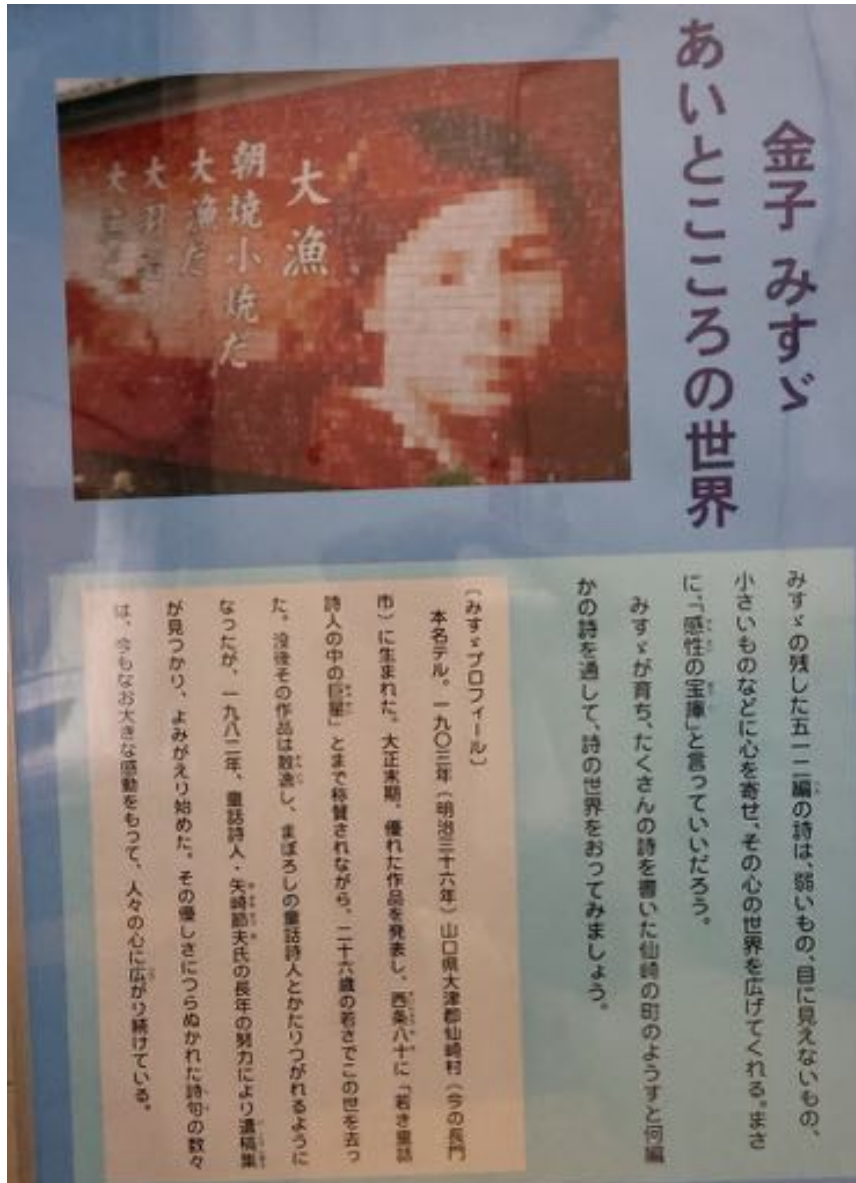


金子みすゞ



小学校の教科書にも掲載されている金子みすゞの詩。みすゞの詩は、人の心を打つものも多くあります。みすゞの詩と生涯を紹介

B2：詩9枚 解説9枚

「私と小鳥と鈴と」の詩の一説に、「みんなちがって みんないい」というフレーズがあります。「多様性」という言葉も、「人権」という言葉もなかったみすゞが生きた時代、そんな時代にあっても、それぞれの詩の中には、人権という魂が中心に座っているように思えます。みすゞの残した512編の詩。その中に、みすゞの願いや理想を伺うことができます。